

2014年3月期 決算説明会

2014年5月13日

日本システムウェア株式会社

代表取締役執行役員社長 多田 尚二

Humanware By Systemware

1. 前期業績

連結業績概要

(単位:百万円)

	2013/3期 実績	期初計画	2014/3期 実績	2014/3期実績	
				前期比 (増減率)	計画比 (増減率)
売上高	26,007	27,000	26,944	+3.6%	△0.2%
営業利益	1,124	1,200	1,402	+24.7%	+16.9%
同率	4.4%	4.4%	5.2%	+0.8p	+0.8p
経常利益	1,164	1,200	1,413	+21.4%	+17.8%
同率	4.6%	4.4%	5.2%	+0.6p	+0.8p
当期純利益	390	660	904	+131.4%	+37.0%
同率	1.6%	2.4%	3.4%	+1.8p	+1.0p

- 売上高:主にプロダクトソリューション事業が牽引し、増収
- 利益:売上増に加え生産性向上や経費削減等により、増益

セグメント別業績

(単位:百万円)

		2013/3期 実績	中間期 修正計画	2014/3期 実績	前期比 (増減率)	計画比 (増減率)
IT ソリューション	売上高	16,694	17,200	16,794	+0.6%	△2.4%
	営業利益	566	540	590	+4.1%	+9.3%
	同率	3.4%	3.1%	3.5%	+0.1p	+0.4p
プロダクト ソリューション	売上高	9,313	9,800	10,149	+9.0%	+3.6%
	営業利益	557	660	812	+45.6%	+23.1%
	同率	6.0%	6.7%	8.0%	+2.0p	+1.3p

- 【IT】大型案件の反動減も、パッケージベースSI事業が牽引
- 【プロダクト】デバイス開発が大きく伸長
- 両セグメントとも増収増益

ITソリューション事業 概況(1)

事業区分別売上高

(単位:百万円)

ITソリューション	2013/3期 実績		2014/3期 実績		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
ソリューション事業	9,809	58.7%	9,641	57.4%	△168	△1.7%
システム運用事業	2,673	16.0%	2,451	14.6%	△221	△8.3%
データセンター事業	2,632	15.8%	2,772	16.5%	+139	+5.3%
システム機器販売	1,430	8.6%	1,862	11.1%	+431	+30.2%
その他	148	0.9%	67	0.4%	△80	△54.3%
合計	16,694	100.0%	16,794	100.0%	+100	+0.6%

ITソリューション事業 概況(2)

ソリューション事業・システム機器販売

- 金融保険業向けが前期大型案件の反動および不採算案件の発生により減収減益。官公庁向け、製造業向けも低調
- 流通業(卸・小売、物流)向けのPKGベースソリューションが伸長。これに増税前の駆け込み需要も加わり、システム機器販売も伸長

システム運用事業

- 前期の大型案件終了による落ち込みをリカバリしきれず、減収
- 要員のスキル転換および待機工数の抑制図り、利益改善

データセンター事業

- データセンター供給過多により新規受注に苦戦
- 既存顧客の深耕、クラウドサービス関連需要の増加により増収

プロダクトソリューション事業 概況(1)

事業区分別売上高

(単位:百万円)

プロダクト ソリューション	2013/3期 実績		2014/3期 実績		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
組み込みソフトウェア 開発事業	6,504	69.8%	6,507	64.1%	+2	+0.0%
デバイス開発事業	2,620	28.2%	3,497	34.5%	+877	+33.5%
その他	188	2.0%	144	1.4%	△43	△23.2%
合 計	9,313	100.0%	10,149	100.0%	+836	+9.0%

プロダクトソリューション事業 概況(2)

組込みソフトウェア開発事業

- 通信インフラ系が前期から引き続き牽引、体制拡大
- モバイル系大型案件の需要減続く。スマートデバイス関連需要に対応すべく、ソリューション系、サービス系へのシフトを図る
- オートモーティブ系は海外シフト分を中国現法(NSWChina)でキャッチアップ。国内開発も深耕図る

デバイス開発事業

- 半導体業界再編によるパートナー集約化の動きを契機に、領域拡大図る。新規開拓も実現
- 通信分野や画像処理分野など、セットメーカー向け開発案件も堅調に推移
- IPライセンス販売、新サービス事業などの引合いも増加

経営・財務指標の推移

	2013年3月期 期末	2014年3月期 第2四半期末	2014年3月期 期末
流動比率	174.2%	187.9%	198.9%
固定比率	78.9%	77.0%	72.2%
有利子負債依存率	10.0%	8.6%	5.7%
デット・エクイティ比率	0.16倍	0.13倍	0.09倍
自己資本比率	61.4%	63.7%	64.0%
一株当たり当期純利益	26.22円	17.12円	60.68円
一株当たり配当金	7.50円	7.50円	7.50円

➤ 引き続き、財務体質の健全化を継続

Humanware By Systemware

2. 今期計画と重点施策

(事業環境)

- 金融緩和や各種経済対策を背景に企業収益や個人消費などが持ち直し、緩やかな回復基調が続くと予測
- 一方で、消費増税の影響や海外景気の下振れ懸念などにより、先行きはなお不透明感も

(業界動向)

- マイナンバー関連需要への期待に加え、クラウド・モバイルサービスなど、新たな事業展開が本格化
- 開発業務の海外シフトに加えて新規事業者の参入などにより、厳しい状況も継続



新たなビジネス創出、価値創造を加速

事業構造の変革

既存事業に続く、新たな柱となるビジネスモデルを構築する。
戦略的投資により、新市場における事業拡大やコア技術の創出に取り組む。

① 『サービス型事業』の強化・拡大

② 事業領域の拡大、サービスの共創

③ 既存事業基盤の整備・強化

グループ経営目標

(単位:百万円)

	2014/3期 実績	2015/3期 計画	前期比	
			増減額	増減率
売上高	26,944	28,000	+1,055	+3.9%
営業利益	1,402	1,500	+97	+6.9%
同率	5.2%	5.4%	+0.2p	
経常利益	1,413	1,500	+86	+6.1%
同率	5.2%	5.4%	+0.2p	
当期純利益	904	900	△4	△0.5%
同率	3.4%	3.2%	△0.2p	

- 収益力のさらなる改善を図るとともに、新たなサービス創出に向けて先行投資も継続

セグメント別事業目標

(単位:百万円)

		2014/3期 実績	2015/3期 計画	前期比	
				増減額	増減率
IT ソリューション	売上高	16,794	17,500	+705	+4.2%
	営業利益	590	800	+209	+35.5%
	同率	3.5%	4.6%	+1.1p	
プロダクト ソリューション	売上高	10,149	10,500	+350	+3.4%
	営業利益	812	700	△112	△13.8%
	同率	8.0%	6.7%	△1.3p	

- 【IT】流通業向けソリューション事業や公共・社会インフラを中心に、収益力のさらなる強化を図る。
- 【プロダクト】新サービスの立ち上げ、新領域開拓を図る

ITトータルソリューションサービスの実現 サービス構築型からサービス共創型への変革

クラウド基盤を
核とした事業推進

パッケージベースの
アセット型SI事業確立

専門業種・業務ノウハウ
を活かした
トータルソリューション提供

高付加価値型
運用・DCサービスの
拡大

ITソリューション事業 今期重点施策

クラウド基盤を核とした事業推進

- M2Mプラットフォーム(Toami)拡販、上位サービスの提供
- 垂直統合型のクラウドサービスメニューの拡充と拡販

パッケージベース「アセット型SI事業」の確立

- 間販・地域展開による流通業・物流業向けパッケージの拡販
- 既存パッケージの販売体制強化
- 開発基盤強化による品質・生産性の向上

業種・業務ノウハウを活かしたトータルソリューション提供

- 金融保険業向け、官公庁向けソリューション提案の強化、拡大
- プロセスマネジメント強化による不採算プロジェクト撲滅と生産性改善

高付加価値型 運用・DCサービスの拡大

- 情報システムBPOサービス、リモート運用監視サービスの拡大
- インフラ設計・構築技術者の育成、運用系技術者の技術転換の促進

New Product Solutionの実現 IoTとサービスによる新たなソリューション提供の拡大

EMS、ITSなど
新ソリューション提供

既存分野の深耕、
エネルギー、社会インフラ、
医療機器分野の開拓

サービス事業展開、
プロダクト・ライセンス
販売の拡大

LSI開発における
ワンストップ
ソリューション展開

IoT :Internet of Things “すべてのモノがインターネットへ接続される世界”を実現するコンセプト

プロダクトソリューション事業 今期重点施策

サービス事業展開、プロダクト・ライセンス販売の拡大

- クラウド連携によるM2Mセンシングサービスの提供
- O2Oモバイルサービスのプロモーション、拡販

エネルギー管理システムなど新ソリューションへの取り組み

- 組込み・モバイル技術を活用したHEMS、BEMS関連ソリューションの提供
- 社会インフラ、設備、エネルギー、医療機器分野等への展開

LSI開発におけるワンストップソリューション展開

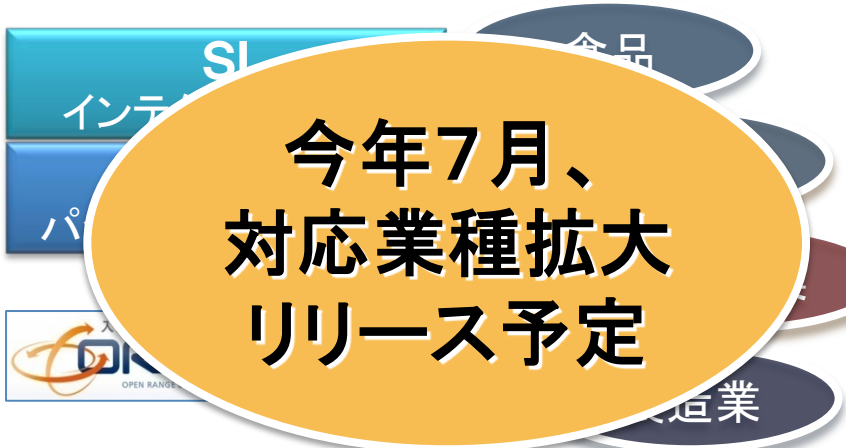
- 画像処理IPの販売、映像機器・医療機器メーカーへの提案
- 生産縮小LSI製品のフルカスタム再生産サービス「Lite ASIC」の拡販

既存分野の深耕、新領域の開拓

- 通信インフラ分野、デバイス分野の対応領域の拡大
- プロセスマネジメント強化による個別PJの生産性・品質のさらなる向上
- 無線技術、ジェスチャー認識技術など、次世代コア技術基盤の強化


サービス型事業 強化・拡大の現状

①アセットSIの展開



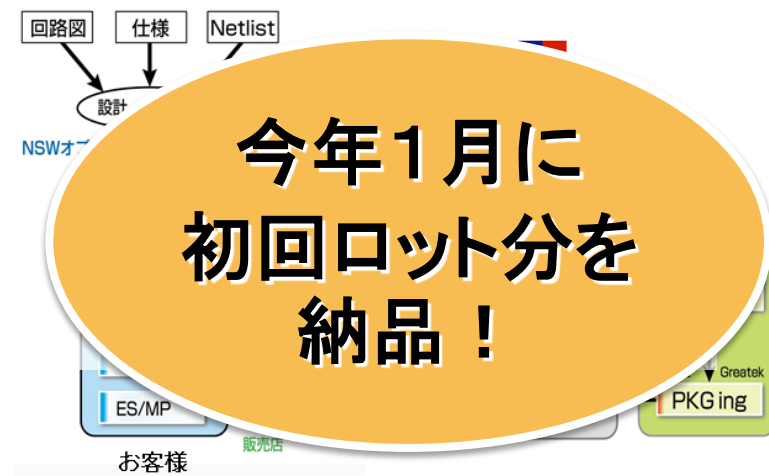
今年7月、
対応業種拡大
リリース予定

②新領域・新市場への進出



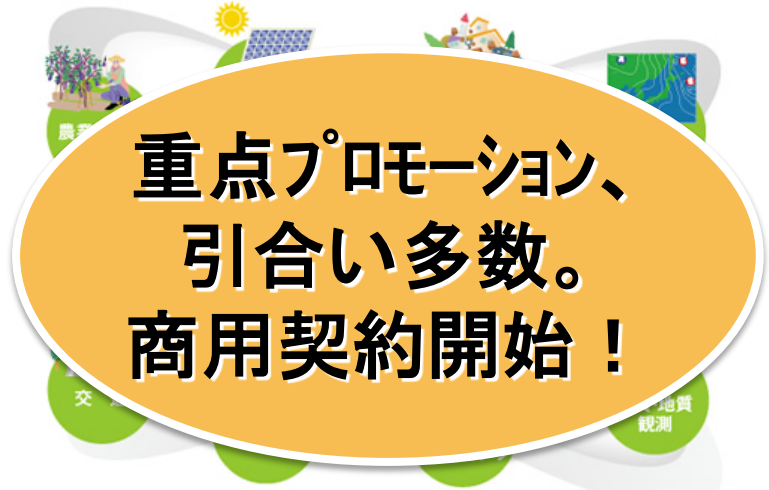
マンション管理
システムに
提供決定！

③デバイス事業の進化



今年1月に
初回ロット分を
納品！

④クラウドM2M基盤



重点プロモーション、
引合い多数。
商用契約開始！

今期の注力分野

M2Mサービス

プラットフォーム「Toami」拡販
+ 垂直統合型サービスの展開



O2Oサービス

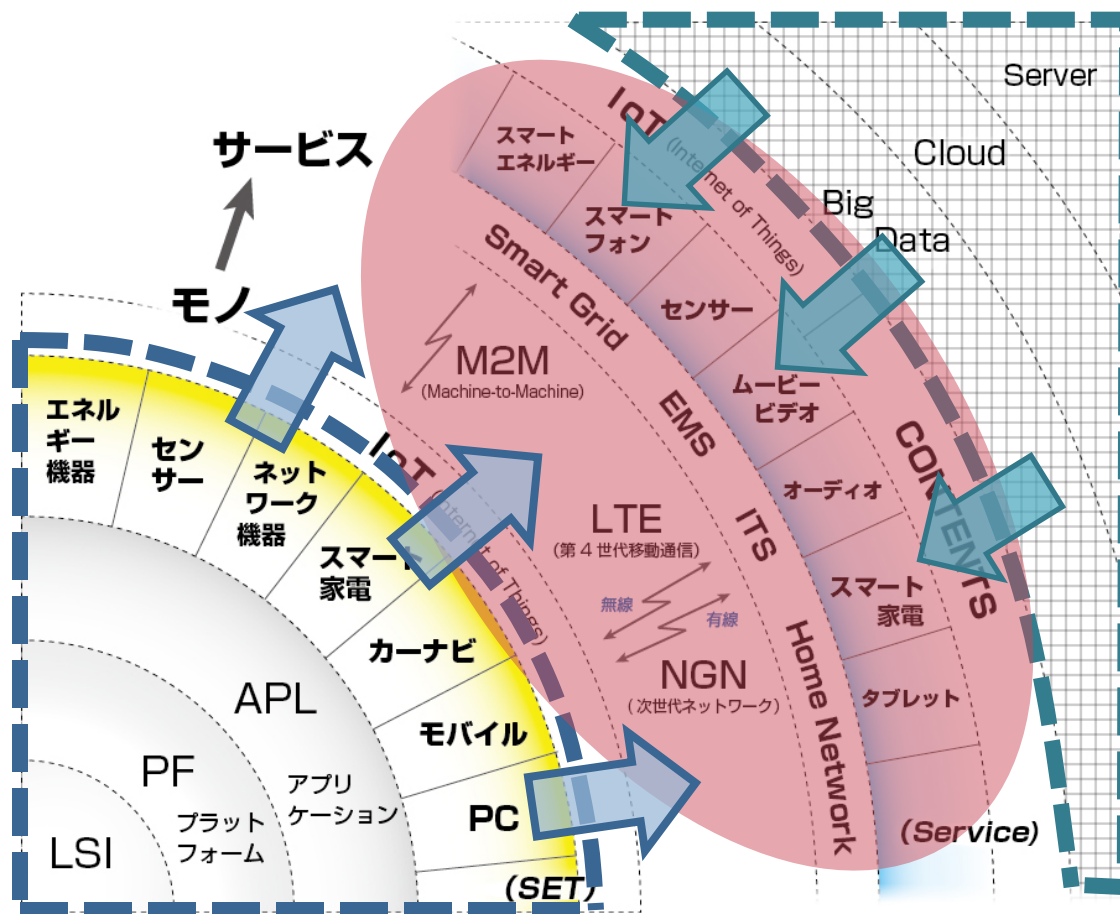
来店誘導の専用アプリを迅速に提供
+ 店舗とネットの統合を最適化



NSW Nextの実現にむけて

事業シナジーの強化

知財をベースとした新事業の一層の推進



NSW

Humanware By Systemware